

第134回神奈川大学日本常民文化研究所研究会



震災記念堂を中心に計画された 横網町公園内建造物からみる 「日本趣味」の建築の成立過程について

姜 明采氏

神奈川大学 日本常民文化研究所 所員
建築学部 助教

2023年3月15日(水)17:30~19:00

Zoomミーティング 【開場:17:15】

申込方法：ご参加希望の方は、右のQRコードよりお申込みください。IDとパスコードが自動返信メールにて送信されます。



震災記念堂を中心に計画された 横網町公園内建造物からみる 「日本趣味」の建築の成立過程について

大正期から昭和初期における日本の建築界では、明治期から導入された欧米建築への反動として、建築家たちによる伝統解釈の表現である「日本趣味」の建築が登場した。しかしながら、こうした伝統回帰とも考えられる建築の出現は、建築家ではない一般の人々の意向を反映することで誕生したとの解釈もまた可能と考えられる。

本発表は、現存する初期の「日本趣味」の建築として知られる震災記念堂（現東京都慰霊堂）をはじめとした横網町公園内震災記念建造物の設計経緯に注目し、「日本趣味」の建築が建築家ではない一般の人々による国民性の表現として誕生した一連の過程を紹介するものである。